

ふるさと 香美

今月号の主な内容

- ・町政懇談会 … P. 2～ 5
 こんにちは町長です
- ・いきいきまちづくり運動 … P. 6～ 7
- ・香美町連合自治会新体制 … P. 8
- ・長寿医療制度 … P. 9
- ・行政トピックス … P.10～ 13
- ・まちの出来事 … P.14～ 15
- ・キラリ香美町 … P.16
 (別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



【写真】 秋にはおいしいもちが食べられるかな
 兎塚小学校田植え体験

6

香美町広報
平成20年6月号
(第39号)

5月16日、兎塚小学校の4年生20人と5年生13人が、グラウンド横の2アールほどの田んぼで田植えを体験。裸足で泥の感触を楽しみながら、もち米の苗を丁寧に植えました。

児童は「つきたてのおもちに砂糖醤油やきなこをまぶして食べるのが楽しみ。大根おろしもおいしいよ」と、秋の収穫祭が今から待ち遠しい様子でした。

平成20年度 町政懇談会開催 (町内10会場)

財政再建と新しい香美町づくりの目途

5月7日から29日にかけて、町内10会場(各小学校区)で、町長をはじめ町幹部職員が出席し、町民の皆さんと意見交換する「町政懇談会」を開催しました。

会場では、町側の説明のあと、町民の皆さんから貴重なご意見を多数いただきました。ここに意見交換の

概要をご紹介します。紙面の都合上、すべてのご意見を掲載しておりませんがご了承ください。

- 主な内容
- ①平成20年度町政の推進について
 - ②上下水道料金の改定について
 - ③全但バス路線休止に係る対応について



▲5月16日、香住区の上計ふれあい会館にて

村岡区	小代区	香住区	町政懇談会開催日程
<ul style="list-style-type: none"> 5月26日(月) 村岡老人福祉センター 5月28日(水) 兎塚地区公民館 5月29日(木) 射添地区公民館 	<ul style="list-style-type: none"> 5月22日(木) 小代区総合センター 	<ul style="list-style-type: none"> 5月7日(水) 香住文化会館 5月9日(金) 余部地区公民館 5月13日(火) 奥佐津地区公民館 5月14日(水) 佐津地区公民館 5月16日(金) 上計ふれあい会館 5月20日(火) 長井地区公民館 	

香住区

○香住文化会館

【学校施設の改修】

問 香住第一中学校の体育館の床のゆがみが年々ひどくなってきたているので、早期の改修をお願いしたい。

答 町内には多くの学校施設があり改修が必要となるところがある。教育委員会での検討をもとに、緊急性の高いものから順次整備を行っている。

香住第一中学校と香住小学校については、財政の状況を見ながら早期に対応したい。(町長)

【産業振興】

問 厳しい経済情勢が続くなか、町内の事業者が事業拡大のため町外に工場を建設する場合、町内事業者の支援の観点から借入金に対する利子補給などの助成制度が適用できないか。

答 町内での事業活動によって税収や町内の雇用促進などが期待できることから、借入金に対する利子補給などの助成制度を設けている。しかし、町外で町内事業者が事業活動をするることにより、本町にどのような効果があるのかを考え、検討する。(町長)

【通学路】

問 矢田、下浜地区の小学生の登校路が遠回りとなっている。改善を要望する。

答 七日市地区内の国道には歩道がなく、またカーブ付近がとても危険であり、子どもたちの安全確保のため、やむなく現在の通学路となっている。

県土木事務所など関係機関とも協議を行っているが、早期に改善できるように努力したい。(教育長)

○余部地区公民館

【学校統合】

問 村岡区内では中学校の統合が進められているが、香住区についてはどのように考えているのか。

答 学校統合については、行政が主導するより町民の皆さん、特に保護者の皆さんの意向を最優先したい。

香住区の周辺の小学校については、少子化の影響を受け児童数が減少してきている。町民の皆さんの意見もいただきたい。(町長)

【鉄橋対策】

問 強風で列車が運行されない場合、町の運行する小さなバスでは、余部地区の中学生全員は乗車しきれないと思うが、どのような対応をするのか。

答 余部地区の中学生全員が1台のバスには乗車しきれない。現在のところ、バスを2往復させることと合わせて、保護者の協力もお願いしたいと考えている。(教育次長)

※ その後の検討で、まず町のマイクログラスで対応し、状況により保護者の協力をお願いすることになりました。

【景気対策】

問 町内の事業者、特に建設業者は非常に厳しい経営状況にあるが、町としてどのような対策を考えているのか。

答 これまでは県の事業を誘致するなどの対応を行ってきたが、県も財政が厳しく、事業が縮小されている。本町では、財政の健全化を早期に達成することが最重要課題であるが、事業者の活動も考えなければならぬので、よく協議していきたい。(町長)

○奥佐津地区公民館

【消防団組織】

問 消防団員数が定数に達しない消防団があると思うが、団員確保への対応や消防団の機構改革などについて検討をしているか。

答 特に、香住区においては昭和60年から団員定数の見直しが行われていないため欠員が多くなっている。消防団員の定数や機材の配備を含めた消防体制のあり方について、有識者による消防委員会で検討を行っていただいた。現在、消防団内部においても協議を行っていただいている。

問 「くだおれ人形」の誘致は、どれだけ観光に役立ち、町の再建に役立つと考えているのか。

答 今年の早い時期に方向性を出したい。(町長)

【水道施設整備】

問 香住の浄水施設の建設が懸案となっているが、具体的な建設場所や建設費用はどのようになっているのか。

答 香住地区と柴山地区に安全・安心な水を供給するため、新しい浄水施設の建設を予定している。場所は、上下水道課の事務所がある矢田川沿いの上流で、事業費は12億円程度を見込んでいる。(建設部長)

○佐津地区公民館

【施設使用料】

問 昨年度から町の施設の使用料が改定されたが、どの程度の使用料の収入があったのか。また、今後も施設使用料の改定の予定があるのか。

答 昨年6月に使用料改定をし、平成19年度は220万230万円程度の収入があり前年度に比べ増収となった。海洋センター2階体育館の使用料など実態に合わないものについては、見直しを行った。今後の使用料の改定については、現在のところ予定していない。(総務部長)

【観光振興】

問 「くだおれ人形」の誘致は、どれだけ観光に役立ち、町の再建に役立つと考えているのか。

答 本町では観光を中心にまちづくりを進めている中で、くだおれ人形の話題性を活かし、観光の目玉のひとつとして利用すれば効果があるのではないかと考えている。しかし、創業者の出身の町ということだけでお金を出さずに譲ってほしいというのは難しさがある。お願いの趣旨はよく伝えてあるので、今後は状況の推移を見ていきたい。(町長)

【下水道の普及対策】

問 下水道の接続率向上のため、具体的にどのような対策で取り組むのか。

答 これまで下水道への接続については町民の皆さんにお願いをするだけであったが、それだけではなかなか効果が上がっていない。このため、施設整備終了後3年を経過しても接続されていない場合は、形式的なお願いでなく、何らかの対応を考えていきたい。(町長)



▲「下水道いつか私にもどる水」汚れた水は下水道へ

指し学校で勉強する学生に学資の助成を行い、医師免許取得後一定期間町内の医療機関で働いてもらうような制度が考えられないか。

答 同様の助成制度は豊岡病院や八鹿病院で実施されている。医師確保の観点から本町でも取り組む必要がある課題である。よく検討したい。(町長)

【町職員の採用】

問 町の合併後職員の採用がないが、このまま職員の採用がなければ職員の年齢構成上、空洞化する階層ができ、行政運営が停滞しないか。

答 これまで4年間、職員を採用していないが、これ以上続くと年齢構成の上でひずみを生じることが考えられる。また、役場が就職先の一つとして若者の町内定住を促進する一面を持つことから、次年度からは退職者の3分の1程度を採用するようにしたい。(町長)

【香住病院の産婦人科再開】

問 香住病院の産婦人科が閉鎖されているが、再開の目途はいつか。

答 日本全体の産婦人科医師の状況を見るとかなり厳しい。このため、単に1つの病院だけでなく地域単位での取り組みが必要である。香住病院産婦人科の再開を目指すのが、当面、豊岡病院との連携を図りながら、町民の不便を最小限にとどめるよう取り組みを進めていく。(町長)

○上計ふれあい会館

【医師確保】

問 香住病院や診療所の医師不足が深刻であるが、町内出身者で医師を目指す

○長井地区公民館

【全但バス休止対策】

問 八原地区の小学生はバスを利用して下校しているが、今年の10月以降にこの時間帯のバスの便がなくなれば、不審者の問題などもあり家族は大変心配である。再検討を願いたい。

答 今年9月で全但バスは運行を休止する。10月以降は町が運行を行うため現在の利用状況を踏まえ、経費的な面などいろいろな角度から検討を行い、町民の代表の方の意見を聞いてまとめた案である。しかし、長井小学校の問題は関係者の意見をよく聞いて再検討したい。(町長)

小代区(小代区総合センター)

【農業振興】

問 耕作放棄地の拡大防止に、集落営農組織を立ち上げることはどうか。

答 要望があれば、集落営農組織の設立について、集落に向いて説明するなど支援を行う。また、県の農業改良普及センターが開催する研修会などを案内する。(産業部長)

集落営農が一番よい方法と考えるが、それが難しい場合は、認定農業者やオペレーターで対応していただくようにしなければならぬ。そのため、今回、オペレーターなどの大型機械購入の一部に対し、利子補給を行うこととした。(町長)

【国道482号大谷バイパス】

問 国道482号の大谷バイパスの着手はいつごろになるのか。

答 県から「財政が厳しいため、少し遅らせたい」と聞いている。合併支援助路としての位置づけがあるので、引き続き早期着工を県に要望していく。(町長)



▲道幅が狭い国道482号(大谷地内)

【上下水道料金改定】

問 平成28年度末に下水道の接続を80%にする案が出ているが、達成の見込みはあるのか。また、平成26年度の統一料金時の接続率は何%を見込んでいるのか。

答 平成26年度の料金統一時の接続率は76・7%を考えている。平成19年度末の接続率は、小代区が68%、村岡区が70%、香住区が50%。香住区は、中心部の整備が遅かったため、区全体の接続率が低くなっているが、香住区のほかの地域では68%や78%となっており接続が進んでいる。このことから、平成28年の接続率80%は達成できると考えている。(建設部長)

村岡区

○村岡老人福祉センター

【水源確保】

問 村岡の水源地のえん堤内に土砂が溜まり、湧水期にはほとんど水がなく、水源の水が少なくなっている。土砂を除去してほしい。

答 現場は確認済みで、砂防えん堤を活用し取水している。現場は土砂が堆積し水の流れがわずかに見えるが、伏流水(地下を流れる水)が相当量あり、実際には十分な水量が確保できている。(村岡地域局長)

【議員定数】

問 町議会議員の数を20人から16人に減らすのは本当か。

答 昨年9月に設置された議員定数等調査特別委員会(議長を除く全議員で構成)で、これまで定数などについて調査研究が行われた。その結果を受け、この6月に開催される定例会で選挙区を設けないこと、議員定数を今の20人から16人に減らすことについて提案される予定である。(議会事務局長)

【村岡区の行政放送】

問 朝の行政放送で町民歌が流れているが、瀬川節や春来峠など旧村岡町時代に流れていた曲も流せないか。

答 また、この春から放送回数が増え3回になり、1回の放送時間が長くなった。歌については、村岡区の有線放送運

営協議会で検討してもらう。また、村岡区の放送は、今年4月から週3回(火、木、土)にしている。1案件の放送回数など、行政放送の全体的な調整を行う。(村岡地域局長)

【村岡区の中学校統合】

問 村岡区の中学校統合について、新しい校名はいつごろ決まるのか。また、義務教育の期間中は、これからも通学費の補助があるのか。

答 統合した中学校の校名は、88点44種の応募があり、6月初旬には決定したい。また、通学費の補助については、現行の補助額を維持する。(教育長)

○兎塚地区公民館

【実質公債費比率】

問 平成18年度に28・8%だった実質公債費比率が、平成19年、20年と増えているのはなぜか。

答 今までの借金(起債)の返済期間は、事業ごとに異なっているが、平成19年、20年度がピークとなった。平成24年から平成25年にかけて返済が終了するものが多いので、今後は徐々に下がっていく。平成26年以降は返済が終了するものがさらに多く、実質公債費比率が大きくなっていく。(町長)

【観光振興】

問 各区の観光協会がまだ統一されていないが、どう考えているのか。また、水ノ山、鉢伏、瀬川、三川山といった

兵庫の屋根とも言える山を生かした観光PRを考えてほしい。

答 観光協会は、町合併の年から連絡協議会を設立し連携を図っているが、来年をめどに統一するよう検討している。しかし、統一してもそれぞれの特徴を生かした観光PRは必要である。

現在、海は山陰海岸のジオパーク(地質公園) 認証を目指し、取り組んでいる。同様に、山の観光資源のPRの第一歩として、今年から「但馬牛食まつり」を実施していく。皆さんのアイデアをいただき、さらに山を生かしたイベントを考えたい。(町長)



▲雄大な瀬川平

【下水道料金】
問 下水道事業の借入金の返済の一部を一般会計から補てんするのはなぜか。

答 水道料金は、今後10年間の赤字見込が4億円程度のため、すべて料金で賄うこととした。下水道料金は16億円で賄おうとすると、かなりの値上げ

が必要となるので、一般会計から8割を負担し、残りの2割を受益者負担である料金で賄うこととする予定である。(町長)

○射添地区公民館

【財政】

問 国・県の交付金など依存財源の状況について教えてください。

答 平成20年度の依存財源のうち地方交付税が58億9400万円で、歳入全体の約50%を占めている。

この地方交付税は、平成17年64億3075万円で、毎年1億円から1億5千万円減ってきている。このことが財政運営に大きく影響している。(町長)

【高齢者対策】

問 高齢者対策について説明してほしい。

答 元気な高齢者の方々に「いきいきまちづくり運動」などに参加していただき、生きがいとしていただこうと考えている。

また、介護予防事業は、65歳以上の介護を受けていない方々に、少しでも長く元気に過ごしてもらおうためのもので、ゲームやものづくりに取り組んでいただく「生きがい活動支援通所事業」や、元気に楽しく体を動かし転びにくい体づくりを目的とする「転倒予防教室」などがある。(健康福祉部長)

【有害鳥獣対策】
問 イノシシの檻はどのようなようにすれば、設置してもらえませんか。

答 農会長を通して、町に檻の設置の要望を提出していただきたい。なお、檻の設置費用の半分は申請者の負担である。また、農会の方で、檻の設置のために狩猟免許を取得してもらおう必要がある。(産業部長)

和太鼓奏者 中村浩二さんが表敬訪問されました



和太鼓奏者として、アメリカでご活躍の中村浩二さん(村岡区宿出身、カリフォルニア州在住、写真左)が一時帰国され、4月26日、藤原町長を表敬訪問されました。中村さんは、渡米された経緯や今年2月のグラミー賞受賞式の様子、受賞アルバム『クレストン(ポール・ウィンター・コンサート)』の製作秘話などの貴重な話を語ってくださいました。また、用意した色紙には「一打入魂」という和太鼓奏者らしいメッセージを書いていただきました。

こんにちは町長です

老健施設「ゆうすげ」オープン

一昨年から使用を休止していた公立香住病院の3階を改修し、去る5月18日に、介護老人保健施設「ゆうすげ」をオープンしました。

高齢化が進む本町にとって、家庭での介護だけでは対応しにくい方々のために、大いに役立つものと思います。

病院内での開設という特色を生かして、医療・看護・介護・リハビリなどの連携のとれたサービスが、入所者それぞれの状況に応じて十分に提供できますよう、関係者一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

香美町長 藤原久嗣



▲開式でのテープカットの様子

『香美町いきいきまちづくり運動』の推進

本町においては、すでに福祉の分野やふるさと教育などで数多くのボランティアグループや個人によるボランティア活動が行われています。また、地域の婦人会や老人クラブをはじめ、さまざまな既存の団体においても、活動の一環として広くボランティア活動が行われています。今年度から、新しい香美町づくり

のさらなる推進を図るため、まちづくり全般にわたる町民の参加（ボランティア活動）を積極的に推進し、町民と行政との協働によるまちづくりを進めていくことを目的とした「いきいきまちづくり運動」を推進していきます。

町民の皆さんの積極的なご参加をよろしく願います。

③ 新しい香美町のまちづくり全般にわたる積極的な町民参加の運動として、『香美町いきいきまちづくり運動』として位置づけることにします。

④ いきいきまちづくり運動に参加していただく人を「いきいきまちづくりサポーター」と呼び、活動への登録をしていただきます。

3 運動の進め方

①運動の周知といきいきまちづくりサポーター募集・登録について

運動の概要を記載したチラシ、登録申込書を全戸に配布し運動の周知を行い、運動参加者を募集し、登録を行います。

なお、当初は申し込みの締め切りを設けますが、その後の申し込みは随時できることとします。

登録申し込みの単位は、個人とします。グループ、サークルなどの登録申し込みは別に受け付けをします。

登録申込者は、個人ごとに登録簿に登録し、登録証を発行します。

なお、すでに社協にボランティアとして登録されているグループや個人、また、ふるさと教育応援団として登録をされている人には、社協および教育委員会を通じて登録のお願いをします。

②活動について

・ 活動の開始までに、運動の目的や活動の内容について説明を行います。

・ 活動の内容により必要に応じて事前研修を行うことがあります。（観光ガイドなど）



▲花づくりに取り組む小代区の「えがお」の皆さん

1 運動の方向

①「香美町いきいきまちづくり運動」は、より一層の町民参加によって、住民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、現在取り組んでいたにいたっている分野のほか、まちづくり全般にわたって多くの町民の皆さんに参画していただく、町民総ボランティア運動」として展開しようとするものです。

② 個人やボランティアグループの活動はもちろんのこと、婦人会や老人クラブなど各種団体が取り組んでいるボランティア活動は、継続してさらに積極的に進めていただくとともに、この運動の活動体系に位置づけさせていただくこととします。

2 活動の内容

行政が積極的に進めているもので町民との関わりが深いもの（青少年健全育成、防犯活動など）、地域の公益団体が進めているもので地域社会とのつながりが大きいもの（高齢者支援など）などとなります。（次ページ参照）

①地域福祉の推進

高齢者の日常生活の支援など

②教育の推進

ふるさと教育の推進支援など

③環境の美化、保全

花づくりや海岸ゴミの回収など

④地域の安全活動

登下校時の子ども見守りなど

⑤まちづくり活動

観光イベントへの協力や観光ガイドなど

別にお配りします「いきいきまちづくりサポーター募集」のチラシをご覧の上、皆さんのサポーター登録をお願いします。

4 運動への参加

- ・登録サポーターには、活動の担当部署（役場所管課、社協）からその都度参加案内を行います。
- ・登録サポーターは可能な範囲で活動に参加していただきます。
- ・活動するにあたっては、活動の内容ごとにできるだけグループ化を進めます。
- ・いきいきまちづくり運動中の事故やケガなどは、町が加入している総合賠償補償保険の対象となります。
- ③活動状況の取りまとめについて
 - ・活動の様子は「香美町いきいきまちづくり運動通信（仮称）」により広く町民に紹介することも、1年ごとに活動状況の取りまとめを行います。
 - ・運動に取り組んでいただいた個人、グループなどに対し、一定の基準を設け、年度ごとに表彰や感謝などの顕彰を行います。
- ④香美町いきいきまちづくり運動推進委員会
 - ・運動の総合的な推進と調整を行うため、住民代表、各種団体代表などで構成する「香美町いきいきまちづくり運動推進委員会」を設置します。

●香美町いきいきまちづくり運動 活動一覧表（平成 20 年 6 月 10 日現在）

分野	内 容
①地域福祉の推進	一人暮らし高齢者などへの給食（お弁当）の調理、配達と安否確認
	在宅高齢者の日常生活の支援（ふれあいサロンの開催など）
	高齢者施設での高齢者の話し相手や部屋の掃除など
	高齢者施設での芸能披露などによる訪問
	ふれあいコンサートの企画や運営（音響、照明、楽器演奏、ボーカルなど）
	小・中学生等への点字の指導、視覚障害者との交流、社協だよりの点訳や童謡や小説の点訳本の作成、点字の技術指導
	小・中学生等への手話指導、聴覚障害者との交流、手話の技術習得と啓発活動
	町広報、議会だよりの本を「声の広報」に編集し、視覚障害者への情報提供（広報などの朗読録音）
	誰もが参加できる「ふれあい旅行」の企画と実施、バザー活動
	高齢者や障害者など一人で外出しにくい方への外出の介助、車の運転など
	町ぐるみ総合健診での受診案内や受診者の介助
	健康教室の開催、地域の福祉活動ほか
	病院での受診者の介助
	幼児への絵本の読み聞かせ
	町ぐるみ総合健診やイベント時に会場での乳幼児の見守りや預かり
	区内での助け合い活動（ご近所ボランティア）
	②教育の推進
小学生への本の読み聞かせ	
ふるさと教育の応援	
①地域の自然、歴史、文化などの学習の補助	
②花づくり、しめ縄づくり、昔の遊びなどの指導	
③学校スキー教室での技術指導	
ふれあい清掃の手伝い（子どもたちの清掃の補助）	
伝統文化の保存、地域での社会教育	
地域の歴史や文化の調査への協力	
地区公民館事業の講座の指導や補助、公民館図書の整理	
香住区中央公民館ホールの音響、照明スタッフ	

分野	内 容
③環境の美化、保全	海洋環境の保全（海岸・海中の清掃）
	町内での花づくり美化活動
	不法投棄防止パトロール
	不法投棄物等の回収
	公共的施設等の清掃、美化活動
	①しおかぜ香苑の美化・管理 ②御殿山公園の清掃、美化 ③温泉保養館おじろんの美化、植栽活動 ④やすらぎの森周辺の環境美化・管理 ⑤JR香住駅、佐津駅の清掃 ⑥今子浦海岸の清掃
④地域の安全活動	幼稚園児、小学生など子どもの見守り（登下校時など）
	アマチュア無線による災害時、緊急時の情報提供
⑤まちづくり活動	観光イベントへの協力
	①「香住ふるさとまつり」後の道路や会場内の清掃活動、たらいごぎ大会の運営スタッフ
	②かすみ松葉ガニ初せり、かすみカニ場まつり、カニ感謝祭のカニ関連イベントの運営スタッフ
	③マラソン大会の運営スタッフ （残酷マラソン：小代、潮風マラソン：香住、ダブルフルウルトラランニング：村岡）
	観光拠点の整備、美化 今子浦「香りの公園」などの植栽、美化活動
観光ガイド（観光名所、旧跡の案内）	
町ホームページに掲載する町内の話題や行事などの写真の提供	



▲子どもたちの登下校を見守る「見守り隊」

●問い合わせ先

役場総務部企画課、各地域局地域振興課

平成20年度
香美町連合自治会新体制
会長に向谷悦男氏

5月23日、役場本庁舎で、平成20年度香美町連合自治会総会が開催され、事業報告や決算、役員体制、事業計画、予算などの審議が行われました。

連合自治会の役員体制については、各区から選出された役員より互選され、総会の承認を受けて決定されます。

その結果、会長には、向谷悦男氏（村岡区高津）が就任されました。

なお、今年度お世話になる各集落の区長、自治会長および自治区長は下表のとおりです。（敬称略）

・会長	向谷 悦男	(村岡区)
・副会長	上田 勝信	(香住区)
・理事	中村 能章	(小代区)
	小林 進	(香住区)
	山盛 和義	(香住区)
	中村 敦	(香住区)
	濱名 登	(香住区)
	八次 一夫	(村岡区)
	藤澤 昌彦	(小代区)
・井上 政信	(村岡区)	
・伊藤 嘉明	(香住区)	
・田野 新一	(小代区)	

平成20年度 区長・自治会長・自治区長名簿 (平成20年5月23日現在)

地区	区または自治会(区)名	区長または自治会(区)長名	地区	区または自治会(区)名	区長または自治会(区)長名	地区	区または自治会(区)名	区長または自治会(区)長名						
香住区(47)	香住地区	境	玉置 寿男	香住区	余部地区	香住地区	市	午 中村 良次						
		一日市	磯田 和志				梶原	山崎 順治						
		若松	伊藤 嘉明				浜	北村 幸雄						
		香住	中村 暁				西	山本 美津男						
		西香住	上田 孝				御崎	岡田 和						
		七日市	上田 勝信				鎧	上根 嘉明						
		駅前	橋本 隆				東上	横井 健次						
		森	福本 芳夫				東中	田村 武夫						
		間室	山村 俊雄				本町	八次 一夫						
		油良	山根 一夫				野々上	伊藤 正和						
		矢田	濱田 勝也				殿町	中村 彰男						
		下浜	小林 進				水上	今田 義男						
		奥佐津地区	九斗				秋山 正樹	川上	池口 重雄	村岡区	射添地区	村岡区	黒田	山根 亀久二
			米地				稲垣 貞夫	中西	山田 祥二				宿	上田 彬雄
	丹生地		今西 修輔	新町	轟 晴光	日影	西村 計一							
	西下岡		佐下 定行	西本町	山本 裕彦	作山	山本 徹							
	下岡		井越 政明	用野	田中 好和	入江	山根 清吉							
	上岡		釜本 日出男	鹿田	鉄屋 享	和佐父	森 价紀							
	隼人		田門 茂	相田	東 達雄	和田	小谷 勝明							
	畑		青山 喜一	神坂	石原 敬一	長板	古川 稔							
	大梶		山盛 和義	萩山	小谷 正留	熊波	諏訪 宏榮							
	三川		原田 耕治	板仕野	岡田 義之	粗岡	岸本 正人							
	土生		三上 隆夫	大糠	西村 忍	丸味	長瀬 五一							
	本見塚		杉立 弥一郎	光陽	宅見 公	川会	中村 正							
	佐津地区		相谷	濱名 登	高井	中村 一男	高津	向谷 悦男	長須				中村 脩	
		奥安木	田中 秀春	寺河内	上田 重夫	味取	岡本 廣治	原	浅田 重男					
		浜安木	宮下 徹	耀山	西田 英雄	原	浅田 重男	長瀬	北村 才智					
		訓谷	寺川 喜久男	市原	西口 正悦	山田	吉田 常喜	小城	中山 明正					
		無南垣	大瀧 正博	福岡	西田 修	境	尾崎 政夫	小代区(21)	神場	林本 嘉宣				
		浦上	今西 真策	八井谷	井上 政信	神場	林本 嘉宣		広井	坂本 良輝				
		上計	今西 弘	大野	大林 元	水間	藤澤 昌彦		水間	藤澤 昌彦				
		沖浦	塩谷 政弘	口大谷	田中 剛	野間谷	朝倉 寿文		野間谷	朝倉 寿文				
		守柄	水谷 弘治	中大谷	藤岡 登	実山	井上 菊夫		実山	井上 菊夫				
		加鹿野	瀧本 齊	大笹	田邊 文夫	平野	長岡 精一		平野	長岡 精一				
	三谷	中村 敦	高坂	井上 亮二	茅野	古岡 菊雄	茅野		古岡 菊雄					
	大谷	松井 正	池ヶ平	西井 孝司	新屋	田野 新一	新屋		田野 新一					
	大野	柴田 浩平	和池	西村 功	秋岡	吉田 博昭	秋岡		吉田 博昭					
	小原	高橋 清之	森脇	森 隆	東垣	今井 司郎	東垣		今井 司郎					
	長井地区	中野	西川 利男			佐坊	中村 徳義	佐坊	中村 徳義					
		藤	清水 眞二			鍛冶屋	中村 能章	鍛冶屋	中村 能章					
		八原	北脇 勇治			貫田	宮脇 壽一	貫田	宮脇 壽一					
						忠宮	田中 敏行	忠宮	田中 敏行					

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）について

～ 7月初旬に保険料額決定通知書を送付します ～

平成20年4月から始った長寿医療制度（後期高齢者医療制度）では、被保険者の皆さんに保険料を負担していただきます。

7月初旬に、今年度の保険料額決定通知書を対象の皆さんに送付します。

保険料の計算方法

保険料額は、平成19年中の所得に応じて計算しています。

なお、平成19年中の世帯（世帯主と世帯内の被保険者）の総所得金額などが一定金額以下の場合、均等割額が軽減されます。

①所得割額

$$\left(\text{平成19年中の総所得金額など} - 330,000 \text{円} \right) \times 8.07\%$$

②均等割額

43,924円

①+②

平成20年度保険料額
（最高限度額 50万円）

※ 「総所得金額など」とは、収入額から控除額を引いた金額です。（ここでいう「控除額」とは、公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費のことをいい、所得控除（社会保険料控除、扶養控除など）は含みません）

保険料のお支払い方法

① 4月から特別徴収（年金からのお支払い）されている人

平成20年度保険料額から4・6・8月の特別徴収額（仮徴収額）を差し引いた残額が、10・12・2月に分けて特別徴収されます。

100円未満の端数は10月分で徴収されます。ただし、保険料額によって、特別徴収から普通徴収（納付書や口座振替などのお支払い）に変わる場合があります。

② 制度に加入する直前に被用者保険（政府管掌健康保険、健康保険組合、共済組合など）の被扶養者だった人

9月までは軽減措置により保険料は徴収されません。10月から平成21年3月までの間に軽減後の額（2196円）が特別徴収、または普通徴収により徴収されます。

③ ①、②以外の人

7月から普通徴収でお支払いいただくこととなります。普通徴収の納期は7月から翌年3月までの9回です。

ただし、普通徴収の人でも10月以降に特別徴収に変更する場合があります。その際には、「保険料額決定通知書兼特別徴収開始通知書」をお送りします。

○特別徴収・普通徴収について

①特別徴収
原則として、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の対象者は、年金から差し引いて保険料をお支払いいただきます。

②普通徴収
次の人につきましては、年金からの徴収は行われず、納付書や口座振替などにより、町に對し個別に保険料を納めていただきます。
・年金額が年額18万円未満の人
・介護保険料と後期高齢者医療保険料を合わせた額が、年金額の2分の1を超える人

○保険料の減免基準について

次のいずれかに該当する場合、申請により保険料の減免を受けることができる場合があります。
・災害で大きな損害を受けたとき
・所得の著しい減少があったとき
・ほかの被保険者や世帯主が死亡したことなどにより、世帯の所得が軽減判定基準以下となるとき
・一定期間給付の制限を受けたとき

●問い合わせ先

役場健康福祉部健康課
各地域局健康福祉課
兵庫県後期高齢者医療広域連合事務局

☎ 078・326・2021

平成20年度「出前講座」開講



出前講座は、町民の皆さんが主催される集まりに、町職員が講師として出向き、担当する業務についてお話をするもので、下記のような講座があります。また、要望に応じて、これ以外の業務についても、ご説明いたします。

●申し込み対象

原則として、町内に在住、在勤、在学の10人以上の団体・グループ

●開催日時・場所

原則として、平日午後1時から午後9時の間で、90分以内。会場は町内。

●会場の手配など

会場の設営や講座運営は、申し込み団体が行ってください。会場使用料が必要な場合は、申し込み団体が負担してください。

●講師料など

講師料は無料ですが、材料費などは、申し込み団体に負担していただくことがあります。

●申し込み方法

開催予定日の2週間前までに、役場総務部総務課へ申し込んでください。

なお、開催日時や内容などによっては、変更をお願いすることがあります。

●開催にあたって

政治、宗教、営利を目的とした講座には講師を派遣できません。質疑や意見は受け付けますが、苦情を言う場にならないようご協力ください。

講座名	講座内容	担当部署
1 予算から見たまちづくり	平成20年度予算から見たまちづくり	総務部総務課
2 地上デジタル放送	地上デジタル放送受信のための共聴施設改修(共聴組合対象)	総務部企画課
3 町税のしくみ	町税の概要と制度改正	総務部税務課
4 環境保全とゴミ問題	環境保全とゴミ問題、ゴミの資源化・減量化	健康福祉部町民課 環境センター
5 自主防災	自主防災組織の活動	健康福祉部町民課
6 花づくり運動	花づくり運動の展開と助成制度	
7 住民登録・戸籍	住民登録、住基カード、戸籍の概要、各種届出・証明	
8 国保・年金・福祉制度	国民健康保険の制度と税、国民年金の制度、福祉医療の助成制度	健康福祉部 町民課・健康課
9 健康づくり	健康づくりに関する栄養・運動指導など	健康福祉部健康課
10 介護予防	転倒骨折予防、認知症予防、高齢者の食生活改善支援など	
11 長寿医療制度	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)	
12 特定健診・特定保健指導	特定健康診査、特定保健指導	
13 介護保険のあらまし	介護保険制度、利用できるサービス、介護保険料、地域包括支援センターの業務などの概要	健康福祉部福祉課
14 福祉施策	福祉の各種制度(児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉)	
15 転倒予防講座	高齢者のための「転びにくい体づくり」	
16 農振農用地と農地転用	農振農用地の指定と解除、農地転用許可	農業委員会
17 悪徳商法	悪徳商法(無料点検商法、架空請求など)から身を守る方法	産業部観光工商課
18 道路網	但馬地域の高速交通網と整備の現状	建設部建設課
19 水道	水道のあらまし	建設部上下水道課
20 下水道のしくみ	浄化センター見学、汚水処理のしくみ(再生水)など(一般対象、小学生対象)	
21 文化財	文化財の保護と現状、今後の課題	教育委員会
22 子育て支援	子育て学習、子育て子育て支援センターの事業概要	
23 人権講座	ワークショップにより、人権について考える	
24 星空への招待	宇宙、天体についてわかりやすく解説	
25 体力づくり支援	健康体操など	
26 古代体験の森での体験学習	古代の生活体験をわかりやすく解説	
27 生活習慣病	高脂血症、糖尿病、高血圧など	香住病院
28 在宅介護	介護の心得と身体のお世話	
29 更年期障害	治療と生活上の注意	
30 乳ガン	乳がんの早期発見と自己診断	

●問い合わせ(申し込み)先 役場総務部総務課

健康づくりと交流を 最重要課題事業 小代健康公園全面完成



小代区の最重要課題事業の一つとして、平成18年度から小代区大谷で整備を進めていた多目的運動場「小代健康公園」が全面完成となりました。すでに使用が始まっている照明施設付きの芝生広場1面に加え、新たに芝生広場1面とグラウンド1面が整備され、グラウンド・ゴルフをはじめ、さまざまなスポーツを楽しむことができそうです。今後、皆さんの健康づくりや都市住民との交流の場として、広く活用していただけます。

別表：団体町内者の使用料（カッコ内は個人使用料）

施設の種類	午前 (8:30～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～22:00)
①芝生広場 (照明施設付き)	2,000円 (100円)	2,000円 (100円)	2,000円 (100円)
②芝生広場	2,000円 (100円)	2,000円 (100円)	
①と②の両面を使用するとき	3,000円	3,000円	
グラウンド	600円	600円	
照明施設	1時間につき 350円		

※町内者とは、町内に住所があるか、勤務・通学する人
 ※町外者の使用料は、町内者の2倍（照明施設は同額）
 ※団体使用は20人以上、個人使用料は1人あたりの額

●問い合わせ（申し込み）先
 小代区地域連携センター
 ☎0796・97・3966

香住病院 介護老人保健施設

「ゆうすげ」を開設

公立香住病院の3階に介護老人保健施設「ゆうすげ」が整備され、5月18日、開設式ならびに施設見学会を開催。約200人の町民の皆さんに見学していただきました。

施設名は、町花である「ゆうすげ」とし、各部屋（個室3、多床室15）には、部屋番号と合わせて花の名前を付けるとともに、安らぎを感じてもらえるよう木製品を多く使い、柔らかな雰囲気づくりにも配慮しました。

なお、入所は5月19日から始まりました。また、通所リハビリテーション事業（デイケア、定員1日10人）については、6月中旬の開始を目指し準備をしています。

●サービス内容

①入所、②短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護、③通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

●問い合わせ先（入所ほか）

ゆうすげ支援相談員
 ☎0796・36・1166



▲木を多用した食堂・談話室



▲ベッドやタンスなどが備わった多床室

税源移譲時の年度間の所得の変動に係る経過措置

平成19年中の所得が下がり、所得税がかからなくなった場合、税源移譲により平成19年度の住民税（平成18年中の所得で計算します）で税負担が上がった分を平成19年分の所得税で調整することができなくなっています。この場合は、申告することにより、平成19年度の住民税を税源移譲前の住民税まで減額する経過措置が適用される場合があります。

●対象者

次の①と②の両方の要件を満たす人
 ①「平成19年度住民税の課税所得金額（申告分離課税分を除く）」が「所得税との人的控除差の合計額」よりも多い人
 ②「平成20年度住民税の課税所得金額（申告分離課税分を含む）」が「所得税との人的控除差の合計額」以下の人

●経過措置による税額の計算方法

平成19年度の税額について、次の①から②を差し引いた金額を減額します。（平成19年度住民税を税源移譲前の金額まで減額します）

①税源移譲後の税率（10%）を適用して調整控除を行った後の税額
 ②税源移譲前の税率（5%、10%、13%）を適用した税額

●申告方法など

対象者は、平成20年7月1日から7月31日までの間に、平成19年1月1日現在の住所所在地の市町村へ申告をしてください。

なお、平成19年度と平成20年度の町・県民税について本町で税額決定された人で、対象となる人につきましては、6月以降に減額申告書を送付する予定です。

●問い合わせ先

役場総務部税務課

平成 20 年度 春の叙勲

名誉町民 久保井氏 と 町内の 2 人の方々が受章

名誉町民 元日本弁護士連合会会長
旭日重光章 久保井 一匡さん(大阪府吹田市・70才)



小代区茅野のご出身で、昭和 37 年 4 月に弁護士登録され、大阪弁護士会会長や近畿弁護士会連合会会長、そして、平成 12 年 4 月から平成 14 年 3 月まで日本弁護士連合会会長を務められました。この間、日本社会の基盤整備としての司法制度の充実(改革)や日本

の刑務所の近代化にご尽力されてきました。

また、昭和 49 年から毎年多くの図書を寄贈いただき、小代区地域連携センター内に「久保井文庫」を開設。教育文化の向上に格別のご協力をいただき、平成 14 年 11 月には旧美方町の名誉町民第 1 号(合併後は香美町名誉町民)に選定させていただきました。

受章について「このような栄誉をいただくことができたのは、小代で生まれ、両親をはじめ郷土の皆さんの暖かいご声援をいただいた賜物と感謝しています。これからも健康に気をつけて皆さんのお役に立ちたいと思います」と語られました。

県議を通算 7 期 28 年間

旭日中綬章 中村 茂さん(香住区香住・77才)



旧香住町議を 1 期務め、40 歳で県議選に初当選して以来、通算 7 期 28 年間、県政に携わり、その間、住民の生の声を県政に届けるため 810 回もの県政報告会を開かれました。

香住東港の整備や地域高規格道路の建設などに尽力されるとともに、早くから財政問題に着目し、行財政改革の重要性を叫んでこられました。

受章について「人生最高の喜びです。私一人の力ではなく、皆さんの力の結晶です。皆さんに支えていただき、7 期をやり遂げることができました。感謝、感激です」と語られました。

町議を 5 期 20 年

旭日双光章 宮脇 猛さん(小代区貫田・85才)



昭和 50 年に 52 歳で初当選して以来、旧美方町議を 5 期 20 年、平成 5 年から 2 年間は議長を務められました。若者の町内定住を促進しようと、小代北団地や 3 へき地保育所の建設などに貢献されました。

受章について「改めて気が引き締まる思いがします。一番議員らしくない議員だった私を、支持してくださった地元の皆さんにほんとうに感謝しています。現在は畑通いが日課。できた野菜を差し上げて喜んでもらえるのが楽しみ。人の世話をするのが好きです。これからも誠実に、堅実にがんばります」と語られました。

寄贈いただきました

●寄付金「社会福祉の推進に」



社会福祉法人香寿会
 (香住区森)
 理事長 里村 克氏

●香住児童館に遊具

「子どもたちが楽しく遊べるように」



国際ソロプチミスト但馬
 会長 西村 美恵氏

北京オリンピック出場おめでとう！
 体操代表 小代区出身の中瀬卓也さん



今年 8 月に開催される北京オリンピックの体操の日本代表に選ばれた中瀬卓也さん。卓也さんの父敏明さんが小代区大谷のご出身で、卓也さんも幼少時代に両親と里帰りされ、スキーをしたり川で泳いだりした思い出があるそうです。

今回のオリンピック出場について卓也さんは「団体のメンバーとして、日本にメダルをもたらすよう精一杯がんばりたい」と意気込みを語られました。

中瀬卓也さん(神奈川県藤沢市在住、徳州会体操クラブ所属、25歳)9歳で体操を始め、全国中学生大会の跳馬で優勝(中学3年)。高校総体個人総合二連覇(高校2、3年)。2000年全日本ジュニア体操競技選手権大会個人総合・種目別(ゆか・つり輪)優勝。2006年世界選手権オーフス大会に日本代表として出場、団体3位に貢献し個人総合6位。2007年世界選手権シュツットガルト大会に団体2位に貢献。2007年トヨタカップで跳馬・つり輪ともに3位など。

求 人 情 報

ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成20年5月20日現在、順不同）

▽正社員					▽パートほか（正社員以外）				
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数
香住区間室	(有)北近畿環境開発	水処理施設管理補助	不問	2	香住区間室	(有)北近畿環境開発	清掃	不問	1
香住区上計	(株)まな水産	販売員	39以下	3	香住区境	(株)香美町観光公社	接客係	不問	3
村岡区大糠	(有)サンカイ通信	電気・通信機器設備の販売、修理、工事	不問	2	香住区若松	但馬漁業協同組合	加工調理員	不問	3
村岡区入江	ヨシオカテクノ(有)	機械オペレーター	不問	1	香住区香住	ローソン香美町香住店	コンビニ店員	不問	2
村岡区福岡	(株)西村工務店	建築施工管理技士	不問	1	香住区若松	(株)共和食品	水産加工員	不問	3
小代区大谷	(有)田野興業	ダンプ運転手	不問	1	香住区下浜	(有)三宝	接客、洗い場、清掃など	不問	1
香住区	(有)SKY警備	警備員（香住道路の工事現場）	不問	10	香住区浦上	(有)いわや	接客係	不問	2
					香住区香住	ライムライト	接客係	不問	2
					村岡区和池	(株)グルメ軒屋ロジックかどま	接客応対	不問	1
					村岡区高井	入江精密工業(有)	アルミ部品の検査・軽作業	不問	1
▽パートほか（正社員以外）									
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数					
香住区若松	富士産業(株)神戸事業部	調理補助（香住病院）	不問	1	小代区神水	社会福祉法人みかたごびしの里	嘱託看護員（看護師）小代区、村岡区	不問	1
					香住区香住	(株)コメリ中四国地区本部	販売員（香住店）	不問	2

おめでとうございます！ 町内から表彰受賞者がありました

- 厚生労働大臣表彰**
民生委員児童委員を20年間
明保能 弘宣さん（小代区平野）
- 兵庫県功労者表彰**
【自治功労】
橘 秀夫さん（香美町議会議員、香住区香住）
【地域活動功労】
池本 久子さん（統計調査員、香住区香住）
【防災・消防功労】
本城 繁信さん（香美町消防団団長、小代区秋岡）
- 愛育班活動功労者表彰**
愛育班活動を20年以上
石井 成子さん（香美町愛育連合会会長、村岡区和田）
- 近畿人権擁護委員連合会長表彰**
田中 基彦さん（村岡区村岡）
- 第63回 但馬杜氏自醸酒研究会最優秀賞**
【県知事賞】
南部 孝春さん（村岡区熊波）
林本 嘉宣さん（小代区神場）
（カッコ内は住所地、順不同）

（お誕生） こんにちは、赤ちゃん

（ご逝去） 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控させていただきます。

※このコーナーは、先月（4/25～5/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

※このコーナーは、先月（4/25～5/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111(代表)
 総務課 36・1111 企画課 36・1962 税務課 36・1113 会計課 36・4321
 町民課 36・1110 健康課 36・1114 福祉課 36・1964 農林水産課 36・0846
 観光商工課 36・3355 建設課 36・1961 上下水道課 36・0420 議会事務局 36・1963
 村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)
 教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966
 公立香住総合病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345
 香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000
 小代高齢者生活支援センター 97・2202 (全ての施設の市外局番：0796)

まちの出来事

学校給食に町内産の但馬牛

すごくおいしい、また食べたい

(村岡区)

むらおか振興公社の協力で、地産地消の一環として町内で肥育された但馬牛の肉を使った料理（4月22日に「肉じゃが」、同30日に「牛丼」）が、村岡区内の幼稚園、小・中学校の給食に登場しました。

▼4月30日、但馬牛の牛丼に大満足な射添小学校の2年生



射添小学校では4月30日、食前に校内放送で、牛丼に地元で育てられた但馬牛の肉が使われているという説明が行われました。2年生の南垣広翔くん（村岡区川合）は「但馬牛はすごくおいしい。また給食で食べたい」と次回のメニューが楽しみな様子でした。町は、子どもたちにそのすばらしさを知ってもらえるよう、今後、全町の学校給食で町内産の但馬牛を使った料理を提供する機会を設け、地産地消の推進を図ります。

▼しゃく投げ競技大会の様子



大人まで約80人が参加。観客から声援が飛び交うなか、選手はひしゃくを力いっぱい投げていました。小代区に帰省中に参加し、30・05mを投げた総合優勝を果たした松田修さん（京田辺市）は、「最初から優勝を狙い、世界記録の目印を目掛けて投げました」と声を弾ませていました。

5月3日、「第8回全国石楠花公園まつり」が、小代区新屋の全国石楠花公園で開催され、町内外から約700人の行楽客でにぎわいました。会場では、地元新屋区民による太鼓やよさこい踊りなどをはじめ、山野草展やグラウンド・ゴルフ大会、全日本しゃく投げ競技大会が開催されました。長さ30cmほどのひしゃくを投げて、その飛距離を競う「しゃく投げ競技大会」には、子どもから



▲よさこい踊りを披露する新屋区の皆さん

第8回全国石楠花公園まつり

石楠花公園で、初夏を満喫

(小代区)

▼友情出演の鑑区「雅の会」



◇余部埼灯台
海面から光源までの高さが284.1m。灯台から発する光は92万カンデラ、光達距離43km。西は鳥取県の湯梨浜町、東は京都府の経ヶ岬まで光が届きます。

光源の高さが日本一の余部埼灯台（香住区御崎）で5月5日、第8回余部埼灯台まつりが開催され、朝早くからたくさんの方が訪れました。会場では、サンショヤやフキの佃煮、ワカメの味噌汁、焼き魚などの特産品の販売なども人気を集めていました。また、地元の小・中学生による「よさこいソーラン踊り」や、雅の会（香住区鑑）の皆さんによる銭太鼓と手踊りも披露され、会場は大いに盛り上がっていました。この日、特別に公開された灯台内部の見学をしようとして、早くから家族連れが列を作っていました。



▲御崎区の小・中学生による「よさこいソーラン節」

第8回余部埼灯台まつり

灯台「うわー高い」、祭りも賑やかに

(香住区)

柴山小学校ワカメ干し体験 磯の香り広がるワカメのカーテン (香住区)

青空が広がる5月15日、柴山小学校の1、2年生27人が生活科体験学習の時間を活用し、柴山漁港の一角で旬のワカメ漁について学びました。

この日は、磯見漁をはじめ17、18年になる松井章治さん(香住区沖浦)を講師に迎え、ワカメの採

り方のほか、アブビやサザエ、ナマコ、ジンバ、モズクなど柴山湾で採れる豊かな「海の幸」の説明を受け、児童は興味津々な様子でした。

そして、松井さんが早朝から採ってきた長さ約80cmのワカメ、およそ10kgを、児童が順番に水洗いし、根をさきみで切った後、洗濯ばさみでロープに1本1本丁寧に干していき、あたり一面に磯の香りが広がりました。

作業が終わると、児童から「ワカメはなぜワカメなのか」や「なぜ春になったら生えてくるのか」など、たくさん質問が講師の松井さんに投げかけられました。干し上がったワカメは、給食のときにふりかけなどにして食べるそうです。

▼一本一本丁寧に干しました



小西優耶さん(香住区沖浦、2年生)は「ワカメはぬるぬるしていておもしろかったです。早く食べてみたい」と話していました。



▲磯見道具が乗った船から説明する松井さん

香住海岸絶景ウォーキング 驚きいっぱい。すごいなあ、香住海岸 (香住区)

5月25日、香住区香住のしおかぜ香苑から同区下浜の三田浜まで往復約7kmを歩く「香住海岸絶景ウォーキング」が行われ、町内外から参加した約150人が風光明媚な海岸線を楽しみながら、香住のことを学びました。

往路では、香住海岸や周辺施設に関するクイズを楽しみながら、三田浜を目指し約1時間のウォーキング。

折り返し地点の三田浜では、子どもから大人まで参加者が力を合わせて地曳網に挑戦。水揚げされたタイやイカなどは塩焼きにされ、参加者のお昼ごはんのおかずになっていました。復路では、動物の「足跡化石」や県指定の天然記念物「漣痕化石」の成り立ちについて説明を受け、太古の日本を想像させる貴重な資料を目の当たりにした参加者は深く感心した様子でした。

▼漣痕化石の説明を受ける参加者



今岡真菜さん(村岡区鹿田、村岡小4年)は「地曳網にかかったサメにびっくりした。初めての地曳網だったけど、もう一回したい」と語ってくれました。



▲地曳網でとれたサメに興味津々な子どもたち

第14代かすみ香りレディ 大好きなふるさとの魅力をPR (香住区)

この度、香住区を中心に観光PRを行う第14代かすみ香りレディが決まり、早速、ゴールデンウィーク中のJR臨時列車内や余部鉄橋下で観光PRを行いました。



今回選ばれたのは、写真右から本田真美さん(香住区香住)、山本えりなさん(同区下岡)、藤原寛子さん(同区浦上)の3人。任期は、平成22年3月末まで。

第4回香美町民ゴルフ大会 95人がスポーツを通し 親睦を深める

快晴の5月17日、神鍋高原カントリークラブで第4回香美町民ゴルフ大会が開催され、町内在住・在勤の95人が出場、ゴルフを通して町民の親睦を深めました。この日、アウト2番ホールでホールインワンを達成した中村雅彦さん(村岡区和田)がベストスコアの72をマークし優勝。2位以下は次のとおり。(敬称略)

▼町長から優勝カップを受け取る中村さん(左)



2位▼中川茂雄(香住区西香住)、3位▼向谷善和(村岡区高津) 4位▼西本幸作(香住区駅前) 5位▼日下部拓一(香住区油良)

香住地区 その2

香住地区は、境、一日市、若松、香住、西香住、七日市、駅前、森、間室、油良、矢田、下浜からなります。今回は、「その2」として、森から下浜までの地域を紹介します。

矢田川の下流域にあたるこの地区は、6月の解禁時には、早朝から多くの釣り人が集まり、鮎釣りを楽めます。また、ジオパーク認証を目指す山陰海岸国立公園には、天然記念物の「鎧の袖」をはじめ、リアス式の変化に富んだ海岸線が続き、海藻類や貝類などの豊かな海産物であふれ、磯見と呼ばれる浅海漁業が盛んに行われています。

この海岸線には栢三田、大イソ、平島の3箇所に、国内でも非常に珍しい約2,000万年前のゾウやサイなどの大型哺乳類や鳥類の足跡化石、当時そこが湖であったことを示す漣痕化石などがあり、太古の日本を知る上でも非常に貴重な資料となっています。

海岸線に近い矢田区や下浜区には、約50軒の旅館や民宿があり、毎年多くの海水浴客やカニすき客で賑わい、観光のまちの宿泊基地となっています。また、油良区・間室区では、観光客の足となる地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の一区間“余部道路”の工事が平成23年春の完成を目指して進められています。

県下一の生産量を誇る香住の梨づくりは、大正14年に矢田の山地で始まったもので、今でも森から下浜にかけて、40戸の農家が約11haの果樹園で二十世紀梨などを生産しています。

伝統芸能では、毎年秋祭りに森と下浜で奉納される三番叟が有名。

森区にある圓山應舉らの障壁画（国の重要文化財）で有名な大乘寺。この大乘寺東側一帯の里山を活用すべく、平成18～19年度にかけて、里山ふれあい森づくり事業により、遊歩道や森林の整備が行われ、自然とふれあう里山林「應舉の森」が完成。スミガマの滝やスタジイ林のほか、さまざまな動植物が見られる魅力いっぱい里山となりました。



◆地区の世帯数と人口 (H20.5.1 現在 町民課調べ)

区名	世帯数	人口			区名	世帯数	人口		
		男	女	計			男	女	計
森	220	321	347	668	矢田	29	53	58	111
間室	42	61	75	136	下浜	184	316	339	655
油良	26	44	52	96	計	501	795	871	1,666
香住地区合計		2,324	3,601	3,926	7,527				

今回は、兎塚小の田植え、柴山小のワカメ干しなど、子どもたちの「食」に通ずる体験が行われていました。

春の叙勲受章者の一人、宮脇猛さんが戦時中に兵隊としてパラオ諸島に駐留していたとき、戦友が飢餓で亡くなっていくのが、いろいろなものを食べ、何とか生き延びたという厳しい経験の一端を話してくださいました。その経験から宮脇さんは「生きていく自信がついた」と語られました。

現代、特に日本では、食べ物があふれています。お金さえあれば食べ損ねることはないでしょう。全国どこに行っても、また、いつの季節でも、スーパーに行けば、ほぼ同様の食品が手に入ります。食べ物の存在価値は昔と随分変わってしまったように思います。

食べ物当たり前前のように食卓に並び生活で、「いただきます」や「ごちそうさま」という言葉の意味すら薄れてしまっている。ごはん粒一つ残すと、「目がこぼれる」と叱られたことも、遠い昔の思い出に変わってあります。その意味がわかる子どもに育ててほしい、「生きていく自信」を身に付けてほしいと思います。(今西)

まちなうごき (平成20年5月1日現在)

編集後記

合計 21,793人 (-18)
 男 10,366人 (-14)
 女 11,427人 (-4)
 世帯数 6,939世帯 (+2)

カッコ内は前月比

ふるさと香美 (第39号) 平成20年6月10日発行
 発行/兵庫県香美町 企画編集/総務部企画課
 〒669-6592 兵庫県美方郡香美町香住区香住 870の1
 tel 0796・36・1111 fax 0796・36・3809
 電子メール info@town.mikata-kami.lg.jp
 〒669-6592 兵庫県美方郡香美町香住区香住 870の1
 http://www.town.mikata-kami.lg.jp



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考えたソイ(大豆油)インキ、再生紙を使用しています。